

一般社団法人 日本原子力学会 標準委員会
第102回 原子燃料サイクル専門部会 議事録

1. 日 時：2025年5月14日（水）13：30 ～ 14：50
2. 会議方式：Web 会議
3. 出席者：（敬称略）
 - （出席委員） 佐々木部会長，宮澤副部会長，藤原幹事，生田，生駒，石原，伊藤，井原，菊池，小澤，小松原，斉藤，坂井，白井，高橋，立川，中島，花山，福元，山本(正)（20名）
 - （欠席委員） 浅見，飯田，山本(武)（3名）
 - （常時参加者） 佐藤，田村，古田（3名）
 - （欠席常時参加者） 大塚，酒井（2名）
 - （説明者）【ウラン・TRU 取扱施設クリアランスレベル検認分科会】高橋幹事
【LLW 処分安全評価分科会】杉山主査，竹内幹事，中居委員，北原常時参加者
【輸送容器分科会】海老原幹事（延べ6名）
 - （事務局）大沼，平野（2名）
4. 配付資料：（議事録末尾に一覧を掲載）
5. 議事内容
事務局から開始時，委員23名中，20名が出席しており，成立に必要な定足数（16名以上）を満足している旨が報告された。

(1) 前回議事録（案）の確認（FTC102-1）

前回議事録（案）について，事前に配付されていた資料FTC102-1にて，承認された。

(2) 人事（FTC102-2）

事務局から資料に基づき，専門部会及び分科会の人事について以下の提案があり，委員の退任等が確認され，審議の結果，委員の再任・承認等が決議された。

【専門部会】

◆決議事項

(a) 委員再任

飯田 芳久	日本原子力研究開発機構	2025.09～2027.08
生田 康平	中部電力	2025.09～2027.08
小澤 孝	日本原燃	2025.09～2027.08
宮澤 晃	電気事業連合会	2025.09～2027.08

【分科会】

○輸送容器分科会

◆承認決議事項

(a) 委員選任

澤村 英範	トランスニュークリア
平沼 健	日立GEニュークリア・エナジー

◇確認事項

(a) 委員退任

山岡 功	原子力安全推進協会	2025.04.01
影山 典広	トランスニュークリア	2025.04.15

(b) 常時参加者所属変更

広瀬 誠	東京科学大学 → 海上技術安全研究所	2025.03.31
------	--------------------	------------

○リサイクル燃料貯蔵分科会

◇確認事項

(a)常時参加者登録解除

村松 誉与 東洋エンジニアリング 2025.03.13

○LLW 廃棄体等製作・管理分科会

◇確認事項

(a)委員退任

梅原 隆司 原子力安全推進協会 2025.04.01

(b)常時参加者登録解除

小野 洋伸 関東技研 2024.12.20

(c)常時参加者登録承認

宇田 俊秋 中部電力

駒月 誠治 中部電力

菅原 康裕 関西電力

野村 健 日揮

○LLW 処分安全評価分科会

◇確認事項

(a)委員退任

山岡 功 原子力安全推進協会 2025.04.01

(3)【報告・審議】

“ウラン取扱施設におけるクリアランスの判断方法：202X”改定案に関する公衆審査の結果について
(担当：事務局, ウラン・TRU 取扱施設クリアランスレベル検認分科会 高橋幹事)

事務局から資料 FTC102-3-1 に基づき、題記に関する公衆審査の結果、意見の提出は無かった旨の説明があった。引き続き、説明者から資料 FTC102-3-2～3 に基づき、誤記訂正等の軽微な修正について説明があった。審議の結果、分科会にて本日のコメントを踏まえて更に十分なチェックを実施し、そこで大きな修正がないことを前提条件として、次回の標準委員会へ報告することが決議された。

主な質疑、コメント等は以下のとおり。

Q：修正箇所が多岐にわたっていて、他にも修正が必要な個所が残っている可能性があるのではないかと思われる。入念にチェックを実施してほしい。

A：従来は委員等からの個別のコメント対応を実施するのみであったが、既存コメントに類似した事例がほかに残っていないか全てのページに亘りチェックを実施する。

C：チェック結果については事前に3役の確認を取ること。

(4)【報告・審議】 (FTC102-4-1～3)

“低レベル放射性廃棄物処分施設の安全評価の実施方法—浅地中処分編：20XX”標準改定案の中間報告について
(担当：LLW 処分安全評価分科会 杉山主査, 竹内幹事, 中居委員, 北原常時参加者)

説明者から資料に基づき、題記標準の改定案について中間報告があり、審議の結果、30日間の意見募集を実施することが決議された。

主な質疑、コメント等は以下のとおり。

Q：説明の中で試算を実施中ということだが、意見募集には影響しないか。

A：今回の意見募集では、本体を中心に附属書についても考え方について確認頂きたい。
試算結果については本報告時に確認頂きたいと考えている。

Q：附属書Pを新規に追加した意図は何か。

- A：保守性に関する議論等もあり，現在の決定論的評価とは別の方法での評価事例として追加した。
- Q：11頁，附属書Iの説明で，トレンチ処分でも地下水位より上の概念があり得るということか。このイメージ図を出しているということか。その場合の対応例として，地下水位を下げる工夫をして，覆土完了までは地下水位を下げた状態にして，その後，地下水が上がってくるというような概念もあり得るということか。
- A：地下水位が高い箇所における処分施設の考え方として示している。標準として提案しているわけではない。
- Q：7頁，附属書Bの図の縦軸の読み方等がよくわからない。この標準独自の新たな提案ではなく，審査ガイドをわかりやすく図示したイメージ図という理解でよいか。
- A：図の左端のグラフは中深度処分でも示しているパラメータの考え方である。その右側の各グラフは審査ガイドの各評価分類に適用する場合のイメージを図示したものである。
- Q：5頁で目安という言葉を使用しているが，その意図は何か。
- A：審査ガイドで使われている表現（「おおよそ〇〇マイクロシーベルト／年以内であること」）を意識した表記とした。
- Q：7頁の図で，トレンチ処分では10～20年とかでピークが出るのに，1000年後のパラメータで評価としているのは現実離れしていないか。
- A：図はピット処分を念頭に審査ガイドに従った設定であるが，1000年以前のパラメータについては，より実態に即した期間別のパラメータ設定も可能である。トレンチ処分の評価ではそうすることも考えられる。

(5) 【報告】 (FTC102-5)

分科会活動状況について

(担当：各分科会代表者等の関係者)

分科会の活動状況について各分科会から説明があった。

特に質疑，コメント等は無かった。

6. その他

- (1) 藤原幹事から，2025年度の倫理教育を6月4日開催の第100回標準委員会の中で13:00～14:00に実施する，専門部会委員も参加可能であるので参加を検討されたい旨の連絡があった。
- (2) 事務局から，標準策定5か年計画2025年版を学会HPに掲載したことが報告された。
- (3) 今後の予定
次回は，2025年7月31日（木）13:30からの開催に決定した。

【配付資料】

- FTC102-0 第102回原子燃料サイクル専門部会議事次第
- FTC102-1 第101回原子燃料サイクル専門部会議事録（案）
- FTC102-2 人事について（案）
- FTC102-3-1 “ウラン取扱施設におけるクリアランスの判断方法：202X”に関する公衆審査の結果について
- FTC102-3-2 “ウラン取扱施設におけるクリアランスの判断方法：202X”（改定案）公衆審査後の分科会委員からのコメント対応
- FTC102-3-3 “ウラン取扱施設におけるクリアランスの判断方法案：202X”（改定案 新旧比較表）
- FTC102-3-4 “ウラン取扱施設におけるクリアランスの判断方法：202X”（改定案 完本版）

- FTC102-4-1 “低レベル放射性廃棄物処分施設の安全評価の実施方法—浅地中処分編：20XX”
標準原案の中間報告について
- FTC102-4-2 “低レベル放射性廃棄物処分施設の安全評価の実施方法—浅地中処分編：20XX”
標準改定案の主な改定内容
- FTC102-4-3 “低レベル放射性廃棄物処分施設の安全評価の実施方法—浅地中処分編：20XX”
(改定履歴付き) 標準改定案 (完本)
- FTC102-5 分科会活動状況報告 (2025 年 4 月 30 日時点)

参考資料

- FTC102-参考 1 原子燃料サイクル専門部会委員名簿
- FTC102-参考 2 原子燃料サイクル専門部会出席実績

以 上